2022 年度　進捗報告書（実行団体）

● 提　出　日　：2022 年 9 月 29 日
● 事　業　名　：子どもがつくる次世代型町内会
● 資金分配団体　：特定非営利活動法人まちぽっと
● 実 行 団 体　：NPO 法人フリースクール木のねっこ

① 実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況＊
①１－１フリースクール生による暖炉のあるカフェ運営、昔暮らし体験、宿泊を月２回継続的にできるようになる。	カフェ、昔暮らし体験、宿泊参加者数 関わるフリースクール生の人数	カフェ参加者数：延べ１５００名 昔暮らし体験宿泊参加者数：延べ 50 名 関わるフリースクール生の人数：５名	2022 年 9 月	カフェ参加者数；延べ 181 名 昔暮らし体験宿泊参加者数；37 名 関わるフリースクール生の人数；９名 月１回金曜「ごりおカフェ」営業、フリーランチカフェ「こちょカフェ」月１回第一火曜営業。春夏秋でふぇす開催し、ごりおカフェも同時営業。 フリースクール生の月１回お泊り会 ※コロナの影響により宿泊の告知は積極的に行っていない	3

②１－２外国人移住者との語学・文化交流し、多文化共生をコーディネートする人材が生まれる。	外国人交流参加者数 多文化共生コーディネーター人数	外国人交流参加者数：延べ 100 名 多文化共生コーディネーター人数：3 名	2022 年 4 月	外国人交流参加者数；延べ７２６名 多文化共生コーディネーター；5 名（内フリースクール生３名） ※横川カフェ月 2 回に加え西広島月 2 回カフェをオープン 月 4 回の設定で、コロナ収束時にフリマイベントを行い目標値より増えた。 団体（一般社団法人ええじゃん）や廿日市市市民活動センターの連携により日本語支援を行っている。 イラン人の個別相談、メキシコ人のフリースクール訪問 2 回（延べ 3 人）。韓国ルーツのフリースクールスタッフも５月まで入る	1
③１－３　森林、畑、田んぼで過ごす作業療法的発達支援が毎月 1 回継続できるようになる。	作業療法的発達支援参加者数	作業療法的発達支援参加者数：延べ 50 名	2022 年 9 月	作業療法的発達支援参加者数：延べ３２４名（農） ※フリースクール生増員による	1
④１－１　２－１　ICT の利用による、フリースクール、コミュニティー、家庭学習者との交流、共同研究、起業提案発信ができるようになる。	ICT の利用による、フリースクール、コミュニティー、家庭学習者との交流参加者数	ICT の利用による、フリースクール、コミュニティー、家庭学習者との交流参加者数：延べ 1000 名	2022 年 4 月	毎週 1 回インスタライブによる交流。延べ 232 名	3

⑤２－２　個別学習オリジナルメソッド（LD や自閉症スペクトラムなど広義において有効）とオンライン学習教材の実践研究	実践数 システム利用人数 研究会議回数	実践数：３ システム利用人数：10 名 研究会議回数：５	2022 年 9 月	実績数：27 システム利用人数：4 名名（計 10 名） 高校受験に向けた学習支援（中３生 1 名） 研究会議回数：12	3

＊進捗状況：1 計画より進んでいる 、2 計画どおり進んでいる 、3 計画より遅れている、4 その他

②　事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2.概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 ☑変更なし　☐短期アウトカムの内容　☐短期アウトカムの表現　　☐短期アウトカムの指標　☐アウトカムの目標値
3.（任意）活動に関する報告
企業向け寄付募集パンフレットの制作 監査法人 PwC とのマッチングにより経理業務改善が進んでいる。

③　広報に関する報告

1.　シンボルマークの使用状況
☑自団体のウェブサイトで表示している　　☑広報制作物に表示している ☐報告書に表示している　☑イベント実施時に表示している　☐その他 →「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：

2.　広報
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等） FM はつかいち、読売・朝日・中国新聞、他団体 HP 取材こいわしの会、インターネットラジオゆめのたね（西日本チャンネル） 2.広報制作物等 イベント募集ちらし 3.報告書等 4.イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等） シンポジウム、イベントチラシ

添付資料

活動の写真（画像データは 1 枚 2 MG 以下、3～4 枚程度）